

11. 使った水はどうなるの? - 下水処理施設

川で行われた大きな工事

川に流れるふたつの管

川に流れる農業

川に流れる漁業や工業

付録



水洗トイレで流された水と便はどこへ。

(1) トイレで流した水はどこへ?

私たちは水を使って、料理をし、ものを洗い、顔を洗い、体を洗います。それではよごれた水はどうなるのでしょうか。

トイレに入って、出すものを出せばスッキリします。さて、水洗トイレの場合流したものはどうなるのでしょうか?



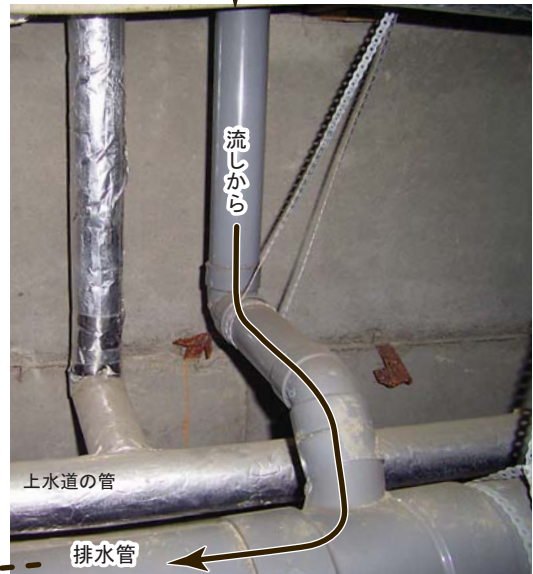
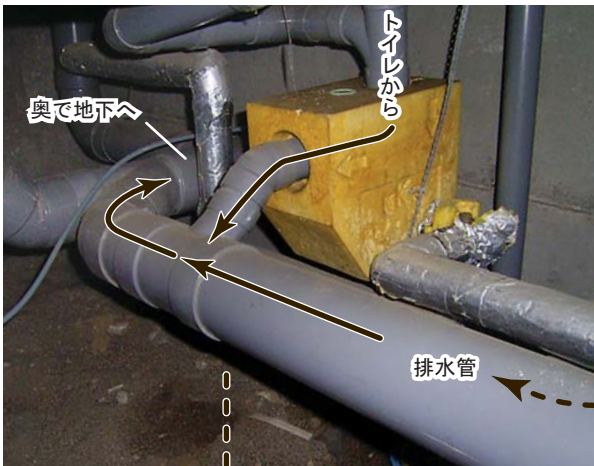
流して流された水。

(2) 地下を通して流される

流された水は、床下から地面の下を通り、マンホール※1を通して下水管おすいかん（污水管）に流れこみます。

上水道の配水管と同じように、基本的に下水管も道路の下を通っています。

注意!!…床下にはそれぞれの家によって、いろいろな設備があり、まちがってこわすと大変です。必ず、お父さん・お母さんなど、おとなといっしょに見るようにしましょう。



使ったあとの水は、床下で上水道とすれちがうようにして地下へ向かう。



パイプを通して流れてきた水は、下水管（污水管）に流れこむ。



かなり深い所にうめられることもある。

※1 マンホール：下水道ほかの地下水路で、路面から人が出入りできるようにつくられ、ふたをされた穴。

※2 下水処理(げすいしより)：家庭などから出た廃水を物理的・化学的に浄化すること。

※3 ろ過(ろか、濫過)：液体を、細かい目を持ったザル、ふるい、布、ろ紙などに通し、混ざりものと液体とを分けること。

※4 微生物(びせいぶつ)が吸収するよごれ：有機物を指す。有機物とは生き物の体を構成



とかがわりゅういさげすいどうじょうか おびひろし
 「十勝川流域下水道浄化センター」(帯広市西18条北3丁目)。
 帯広市・音更町・芽室町・幕別町からの水を処理する。

(3) 下水を集めてきれいにして川へ

こうして使われた水は下水管(汚水管)を通り、下水処理施設にたどり着きます。

処理施設では大きなゴミをろ過したあと、微生物(目に見えないほど小さな生き物)の力をかりてよごれを沈めさせ、上ずみの水を消毒して川に流します。

(→ 工場の排水処理 p97)

注意!!…勝手に入らないように。見学したいときは、先生を通して事前に相談しましょう。

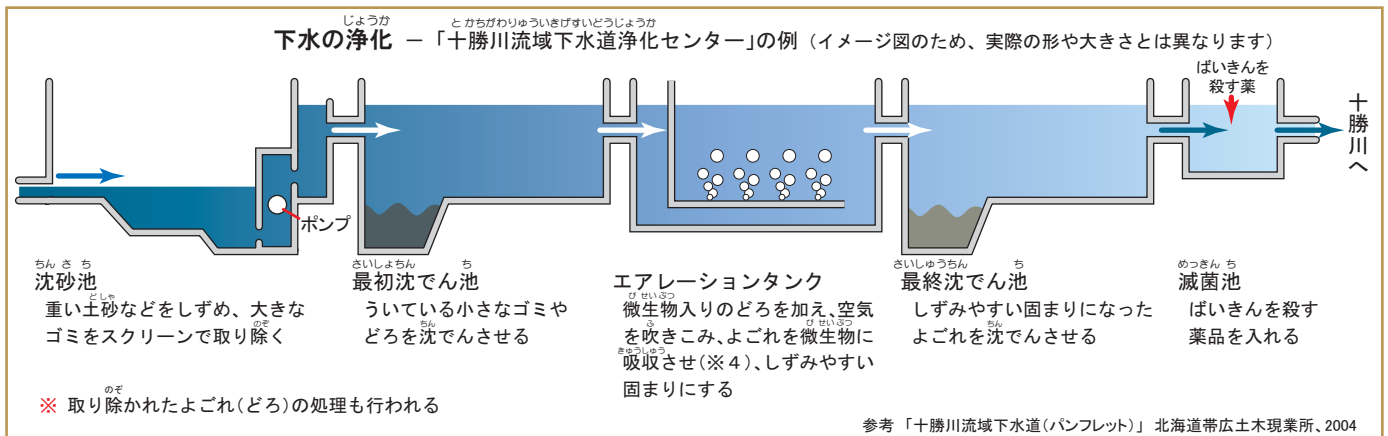
協力・問い合わせ
 ※ 十勝川流域下水道浄化センター
 0155-33-8662



とかがわりゅういさげすいどうじょうか
 十勝川流域下水道浄化センターの内部。
 手前は最初沈でん池で、おくにエアレーションタンク、その向こうに最終沈でん池がある。(下図参照)



とかがわりゅういさげすいどうじょうか
 十勝川流域下水道浄化センターできれいにされた水は、十勝川に流される。(平原大橋上流)



(4) 私たちの体も川の一部

こうして、私たちの使った水や体を通った水は、最終的に川へ流されます。

ということは、川から、浄水場、配水池、水道、そして私たちの体を通して下水処理施設に行くという水の流れも、川の支流だといえます。つまり、私たちの体も川の一部だといえるのです。

注: ここでは、川とのつながりを見るために、流域下水道を例にあげましたが、家に浄化槽がある場合や、水洗ではなく、くみ取りトイレである場合なども多くあります。



※5 沈でん(ちんでん、沈殿): 水など液体に混ぜてはいるがとけこんでいないもので、液体より重いものが、液体の底にたまること。

※6 浄水場(じょうすいじょう): 水をきれいにして水道水にする施設のこと。
 ※7 配水池(はいすいち): 水の使用量は時間によって変わるので、それに対応できるように水道水をためておく池。

川で行われた大きな工事

川につながるふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

付録